

第3期あきる野市子ども・子育て支援総合計画の評価方法について

1 第4章 施策の展開（各事業の取組）

（1）アウトカム評価の実施

基本理念や基本的な考えに基づき、基本目標ごとに指標を設定し、評価いたします。

①評価指標の検討

可能な限り数値化された定量的な評価指標やアンケート調査などによる定性的な評価指標による評価を検討します。

②評価について

各評価指標の令和6年度の参考値から、方向性としての目標（増加、減少、現状維持）を定め、計画の最終年度（令和11年度）に評価します。

（2）各事業の実施報告

全72事業のうち第5章の地域子ども・子育て支援事業を除いた56事業の取り組み状況及び実績を文書で報告いたします。

なお、第2期計画での評価基準（A目標以上、B目標どおり、C要改善、D未着手、E中止）は、使用いたしません。

2 第5章 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の内容」

計画で掲げる各年度の教育・保育（利用定員）及び地域子ども・子育て支援事業の「確保の内容」に対する実績値及び事業実施状況、課題に対する方向性を文書で報告いたします。

1. 基本目標1のアウトカム指標について

基本目標1	子どもが健やかに成長できるまち			
施策名	①幼児教育・保育の充実 ②成長段階に応じた健全育成 ③特に支援を必要とする子どもへの支援の充実			
施策によって期待する成果	幼児教育・保育に携わる人材の確保や保育従事者の専門性の向上により、効果的な教育・保育が提供可能になります。放課後等の居場所の確保、地域資源の活用による活動を通して、子どもたちの健全な発達を支援します。また、支援を必要とする家庭への適切な支援体制が構築され、全ての子どもの健やかな成長が期待できます。			
具体的目標	評価指標	確認する方法	方向性	参考値（R6）
保育サービスが充実されているか	1. 保育所等待機児童数	保育課調べ （毎年実施）	減少	8 人
	2. 未就園児の定期的な預かり事業利用人数	保育課調べ （毎年実施）	増加	70 人
	3. 主に利用している教育・保育事業の満足度（保育内容についての満足＋ほぼ満足）	子育て支援アンケート調査（5年毎実施）	増加	93.4%
放課後の活動支援が充実されているか	4. 学童クラブ待機児童数	こども政策課調べ （毎年実施）	現状維持	0 人
	5. 放課後子ども教室数の実施回数	事務報告書 （毎年実施）	増加 or 現状維持	228 回
	6. 児童館事業の実施回数及び参加人数	事務報告書 （毎年実施）	増加	291 回 4,201 人
子どもの成長を支える取り組みが充実されている	7. 子育てを楽しんでいる割合（就学前児童・小学生調査）	子育て支援アンケート調査（5年毎）	増加	就 62.0% 小 56.8%
	8. 子どもと一緒に過ごす時間の割合（小学生 十分とまあとれている）の計	子育て支援アンケート調査（5年毎）	増加	70.9%
	9. 学習・生活支援事業に利用満足度（児童生徒・保護者の満足している）	こども政策課調べ （毎年実施）	増加	児・生 74% 保護者 69%

2. 基本目標2のアウトカム指標

基本目標2	安心して笑顔で子育てできるまち			
施策名	①母と子の健康の保持・増進 ②家庭における子育て力の向上 ③子育てしやすい支援体制の充実 ④ひとり親家庭等への支援の充実			
施策によって期待する成果	母子の健康保持や疾病の予防が進み、妊娠期間から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築が図られます。また、相談体制の充実や子育て支援情報の積極的な提供により、保護者の孤立感が軽減し、安心して子育てできる環境が整います。さらに、育児負担の軽減や就労支援、ひとり親家庭への支援により家庭の生活が安定し、子育てと就労の両立が可能となる社会が期待されます。			
具体的目標	評価指標	確認する方法	方向性	参考値（R6）
妊娠期から子育て期にわたる母と子のきめ細やかな支援の提供が図られているか	1. 妊婦健康診査の受診率 （妊娠届受理件数/14回÷受診者数）	事務報告書 （毎年実施）	増加	80.9%
	2. 新生児訪問・乳児全戸訪問率	事務報告書 （毎年実施）	増加	98.9%
	3. 乳幼児健康診査（3～4ヶ月児）の受診率	事務報告書 （毎年実施）	増加	98.1%
	4. るのキッズWebへのアクセス件数	こども政策課調べ （毎年実施）	増加	140,370件
	5. るのキッズアプリのダウンロードユーザー数	こども政策課調べ （毎年実施）	増加	2,765人
	6. 子育てに関する不安や負担を感じる （就学前 非常に+なんとなく不安や負担）	子育て支援アンケート調査（5年毎）	減少	60.3%
相談支援やサービス提供の充実が図られているか	7. 子育て支援事業の利用状況の割合 （就学前 育児相談や離乳食教室等）の計	子育て支援アンケート調査（5年毎）	増加	37.0%
	8. 子育て環境や支援に対する満足度 （就学前 満足+やや満足）の計	子育て支援アンケート調査（5年毎）	増加	28.0%
	9. 子ども・子育て支援の充実に対する満足度 （満足+まあ満足）の計	市民アンケート調査（2年毎）	増加	11.0%
	10. ひとり親家庭の暮らしの状況 （苦しい+大変苦しい）の合計	ひとり親家庭アンケート調査（5年毎）	減少	60.2%

3. 基本目標3のアウトカム指標

基本目標3	子育て家庭を地域みんなで応援するまち			
施策名	①安全・安心なまちづくりの推進 ②地域における子ども・子育て支援の推進 ③仕事と子育ての両立の推進			
施策によって期待する成果	全ての子どもや保護者が安心して成長できる環境を整えるため、地域の見守りや子育て支援人材の育成の充実を図ります。また、児童虐待防止やワーク・ライフ・バランスの推進により、子どもや保護者の交流が活性化し仕事と子育ての両立が可能となる社会を目指します。これにより、地域全体で子育てを支える環境が期待されます。			
具体的目標	評価指標	確認する方法	方向性	参考値（R6）
地域ぐるみで子育てできる環境が推進されている	1. 地域子ども育成リーダー認定者数	事務報告書 （毎年実施）	増加	280 人
	2. 子育てグループ活動の参加状況 （就学前 参加＋機会があれば参加したい）	子育て支援アンケート調査（5 年毎）	増加	35.8%
	3. 子ども・子育て世帯への支援、サービス （とてもそう思う＋そう思う）の割合	保健福祉施策のアンケート調査（5 年毎）	増加	34.9%
	4. あきる野市をどんなまちにしたいか （子どもを育てるのに適したまち）の割合	市民アンケート調査 （2 年毎）	増加	23.5%
仕事と家庭生活の両立に向けた支援体制が整備されている	5. ワーク・ライフ・バランスの認知度・理解度の割合 （内容含め知っている）	市民アンケート調査 （2 年毎）	増加	41.1%
	6. 女性が出産後に離職した割合	子育て支援アンケート調査（5 年毎）	減少	6.2%
	7. 男性の育児休業取得率 （就学前 取得した又は取得中である人）	子育て支援アンケート調査（5 年毎）	増加	15.4%
	8. 父親の育児休業を取りにくい雰囲気があった割合（就学前 育児休業の取得状況）	子育て支援アンケート調査（5 年毎）	減少	40.2%